



## ニュージーランド DAY4 & 5

### ～DAY4～

朝、前日の雨模様のおかげか過ごしやすい一日の始まりでした。この日は午後から現地校で日本語を学んでいる生徒の皆さんとの交流があり、少し緊張感と焦りが見えた朝の様子でした。

午前中は ESOL の授業。英語を話すことに慣れてきたのか、休憩時間にも積極的に英語を話す声が聞こえました。

午後からは現地校のバディとの授業がありました。実際に現地でされている授業に入り、受講生徒の一人として授業に出席します。もちろん言語は英語です。これは後日談になりますが、「楽しかった」「英語を聞き取るのは難しいけれどどうにかついていけている」とポジティブな回答が多数！みなさんさすが。



この日のラストは「日本文化紹介」です。現地校の日本語の授業をとっている生徒のみなさんに日本文化を紹介し、実際に体験してもらいました。現地の日本語の先生曰く、現地校の生徒のみなさんは我々との交流があると聞いた瞬間、教室中が歓喜に満ち溢れたとか。嬉しいですね。

授業の様子ですが、まずは現地校のみなさんから日本語で自己紹介をしてもらいました。「名前」「年齢」「好きな○○」の3つを言ってもらい、こちらも自己紹介。「好きなスポーツはバスケットボールです」と言われるたびにバスケットボール好きな生徒同士は盛り上がりました。言語の壁はあっても共通点があるのは強いですね。



そのあと、「折り紙・切り紙」チームと「福笑い」チームに分かれ、日本文化を体験してもらいました。「折り紙・切り紙」に関して、かなり手先の器用さが求められ、説明も細かくする必要がありますが、しっかりと現地校のみなさんにも伝わり、鶴を完成させた生徒さんは非常にうれしそうでした。（事前に折ってみた中の人よりもかなり上手にできていました）



「福笑い」は例を見せながら説明をしました。現地校のみなさんも説明を聞きながら目をキラキラさせていて、説明がうまくできていたようです。福笑いと聞くと伝統的な顔を思い浮かべがちだと思いますが、それに加えて今回準備したのは海外ではおなじみ Mr. ビーン。習いたての「みぎ・ひだり・うえ・した」を使って現地校のみなさんは楽しんでいました。





日本文化紹介を無事に終え、それぞれのホームステイ先に帰っていく後ろ姿は前日よりも格段にたくましく自信に溢れ、頼もしくなっていました。



～DAY 5～

まずは朝の外の様子をお届けします。なんと現地校のみなさんとバスケットボールをしていたのです。ここに言語の壁なんてありません。こうやって交流が進んでいくのですね。



この日も ESOL の授業から始まります。いつもと違うのは宿題の発表があったことです。前日に習った会話表現を使ってホストファミリーにインタビューをする宿題がでていました。各自しっかりと聞くことができている、発表もジェスチャーを使いながらしっかりとめることができていました。



そして ESOL の授業の後はバディとの授業です。もう慣れてきたのかバディとの待ち合わせはお手の物。迷いなんてありません。すぐに待ち合わせて話しながら次の教室へと向かっていきました。





Lunch タイムを終えると、「Kiwiana」という現地の食の授業がありました。ニュージーランドにはおいしいものがたくさんあります。キウイフルーツはよく知られていますが、それ以外にもお菓子の食べ方にも現地ならではのものがあります。例えば日本でもなじみのあるポテトチップスを食べるときにはそのままではなく「Dip（浸ける）」して食べます。しかも二度浸けは禁止です。（どこかで聞いたことあるような・・・）教わりながらおいしくいただきました。様子はぜひ写真をご覧ください。



これでニュージーランド滞在の約半分を終えます。この週末はホストファミリーと過ごす最後の週末になります。どのように過ごしたかはまた次回。